manna space



マナスペース接続マニュアル

SETTING MANUAL

マナスペースをお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

はじめに

このたびはマナスペース（mana space）をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。このプレーヤは、お手持ちのテレビに簡単に接続できます。あとは"ポイント・アンド・クリック"の操作だけで、まったく新しい対話型コンパクトディスクの世界を体験できます。
このマナスペースは、通常のCD（音声のみ収録）、フォトCD、CDグラフィックスおよびCD-iのディスクを再生できます。またデジタルビデオ（ディスク）もビデオCDとともに楽しむことができます。
このマナスペースには、豊富な機能を使いこなすための各種アクセサリが、オプションで用意されてます。
誰でも手軽に扱えるマナスペースで、最新機能を存分にお楽しみください。

マナスペースで再生できるディスク

マナスペースはマザーネットワークオリジナルソフトのほかに
下記の市販ディスクが再生できます。

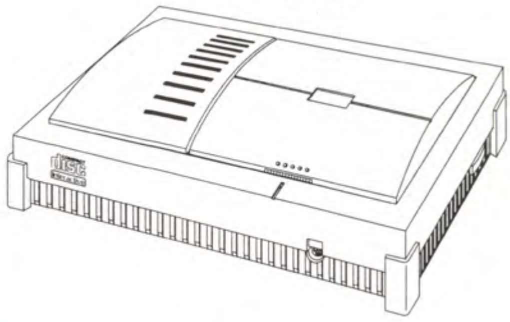
ディスクの種類	表示マーク
CD (CDオーディオ)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CDグラフィクス (CD Graphics)	COMPACT disc DIGITAL AUDIO GRAPHICS
CD-i CD-iデジタルビデオ	COMPACT disc Interactive
フォトCD (Photo-CD)	Photo CD TM
ビデオCD (VIDEO CD)	COMPACT disc DIGITALVIDEO

CONTENTS

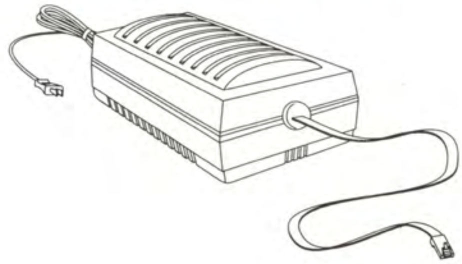
同梱機器の確認

梱包をお開けになりましたら、下記の機器をご確認ください。

マナスペース本体

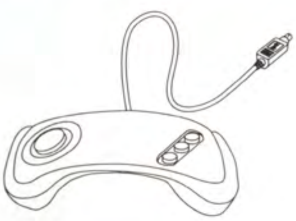


マナスペース用電源アダプタ



同梱機器の
確認

■コントローラ関連

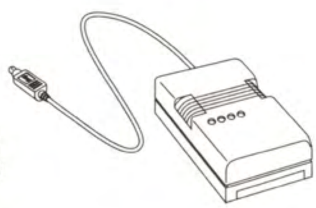


CD-iタッチパッド



モデム・コントローラ用
INPUT端子セパレータ

■モデム関連



モデム本体

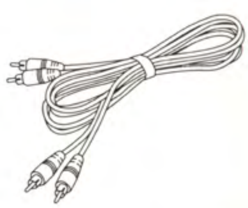


モデム用電源アダプタ

■マナスペース本体←→テレビ、ビデオ接続関連

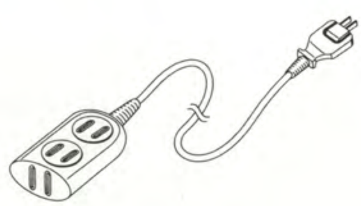


ビデオ用ケーブル



オーディオ用ケーブル

■その他



電源延長ケーブル

万が一、不足品や不良品がありましたら、
下記までお問い合わせください。

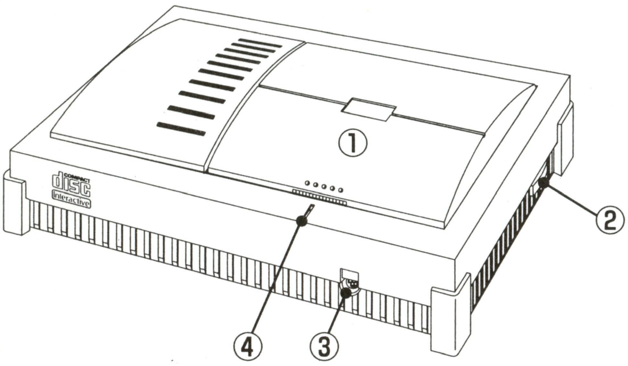
マナスペースサービスセンター

☎078-856-0994

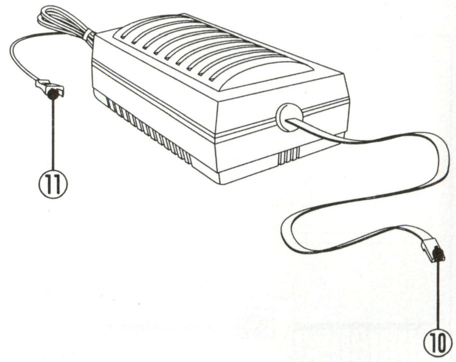
各部の機能と名称

マナスペース本体各部の名称と、それらの機能は下記のとおりとなります。
当マニュアルをお読みになる際に参考にしてください。

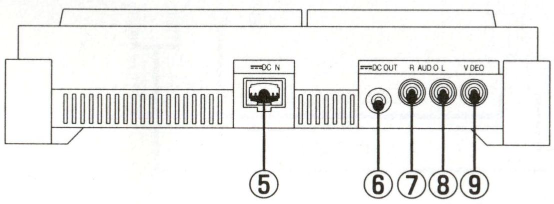
●マナスペース本体



●マナスペース本体電源アダプタ



●本体背面



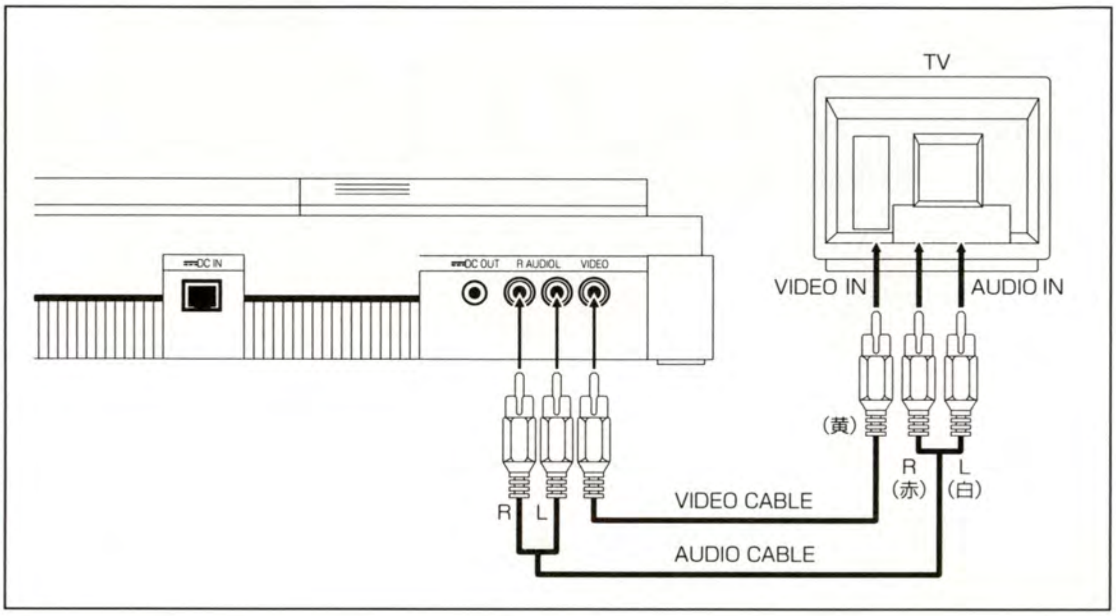
	名称	機能
①	**ディスクカバー**	CD保護用カバー
②	**電源ボタン**	電源スイッチを1回押すごとにON-OFFできます。
③	**INPUT端子**	モデム・コントローラ接続用端子
④	**電源表示LED（緑）**	点灯：電源ON 点滅：ディスク読み込み時
⑤	**DCINコネクタ**	本体用電源入力用コネクタ ※本体用電源アダプタDC出力プラグと接続して使用します。
⑥	**DCOUTコネクタ**	5V出力用コネクタ
⑦ ⑧	**AUDIO･R（赤）** **AUDIO･L（白）**	音声信号出力用コネクタ ※テレビのビデオ・オーディオ端子又はオーディオ装置と接続して使用します。
⑨	**VIDEO（黄）**	ビデオ信号出力用コネクタ
⑩	**DC出力端子**	電源アダプタDC出力用プラグ ※本体DCINコネクタと接続して使用します。
⑪	**電源プラグ**	電源アダプタAC入力用プラグ ※ACコンセントに接続して使用します。

取り付け方法

1 マナスペースとTVの接続

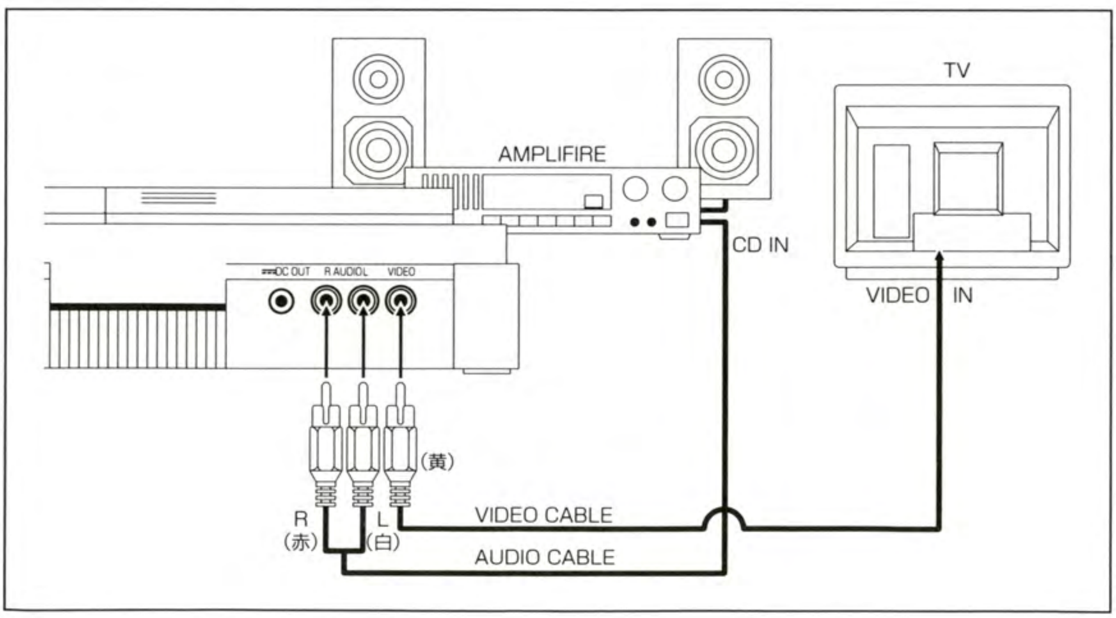
■TVにVIDEO入力がある場合

①ビデオケーブル（黄色）で本体VIDEOとテレビVIDEO INを接続します。
②オーディオケーブル（赤色）で本体AUDIO·Rとテレビ AUDIO IN·Rを、
　オーディオケーブル（白色）で本体AUDIO·Lとテレビ AUDIO IN·Lを接続します。



■手持ちのオーディオ装置につなぐ場合

①ビデオケーブル（黄色）で本体VIDEOコネクタとテレビVIDEO INコネクタを接続します。
②オーディオケーブル（赤色）で本体AUDIO·Rとオーディオアンプ CD IN·Rを、
　オーディオケーブル（白色）で本体AUDIO·Lとオーディオアンプ CD IN·Lを接続します。

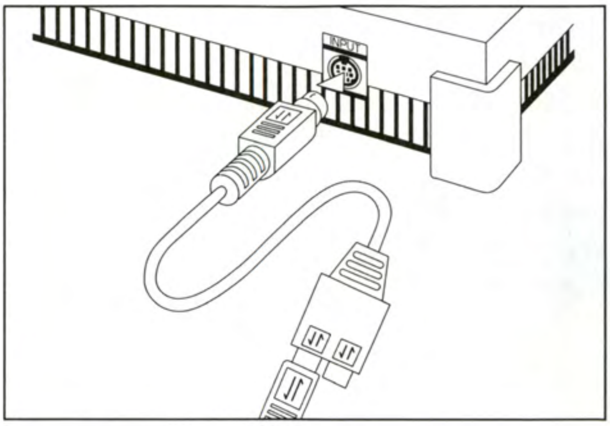


取り付け方法

2 コントローラーの接続

■INPUT端子セパレータの接続

INPUT端子セパレータをコネクタの矢印マークを上に向けて、本体INPUTに差し込みます。

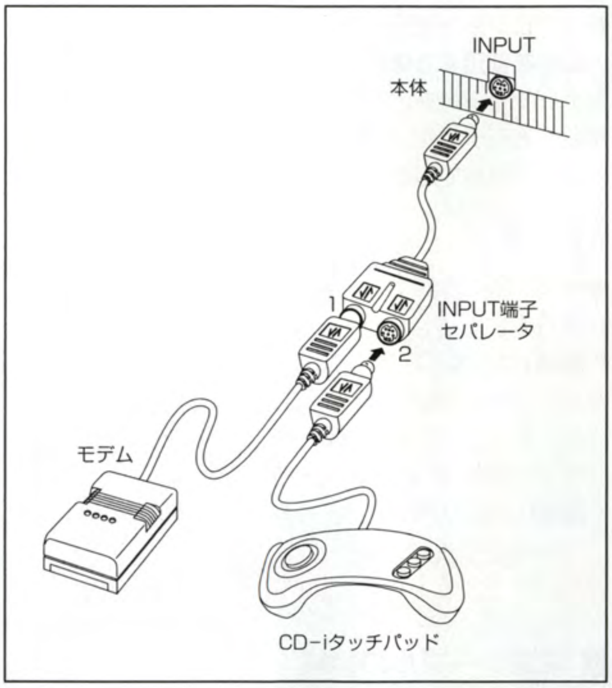


■CD-iタッチパッドの接続

INPUT端子セパレータの「2」にCD-iタッチパッドのコネクタを、矢印マークを上に向けて差し込みます。

■モデムの接続

INPUT端子セパレータの「1」に変換ケーブルを、コネクタの矢印マークを上に向けて差し込みます。



ご注意

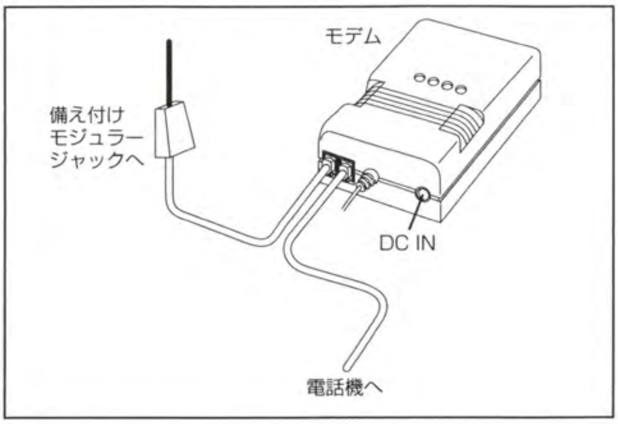
- 電話回線を利用する場合、プッシュ回線が前提となります。
- ダイヤル回線のお客様は最寄りのNTTにご相談下さい。ダイヤル回線では、オンライン発注することができません。

取り付け方法

4 電話回線との接続

■電話が接続されている回線を使用する場合

電話機に差し込まれている電話線を外します。外した電話線をモデムの「LINE」側に差し込んでください。次にモデムに付属の電話線をモデムの「PHONE」側に差し込み、他の一端は電話機に差し込んでください。

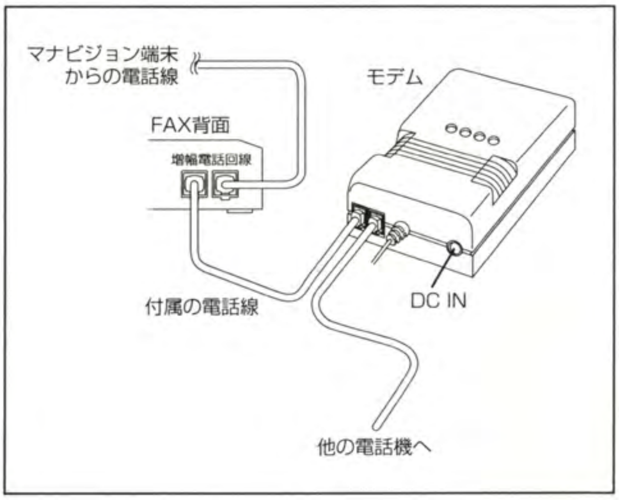


■マナビジョン端末が接続されている回線を使用する場合

マナビジョン端末のFAXの背面の「増設電話」とモデムの「LINE」を、モデムに付属の電話線で接続してください。

ご注意

●既にFAX電話に2本の電話線が差し込まれている場合にはFAX電話の「増設電話」側に差し込まれている電話線を抜いて、付属の電話線を差し込んでください。差し込んだ電話線の一端をモデムの「LINE」側に差し込んでください。最後にFAXから外した一端をモデムの「PHONE」側に接続してください。



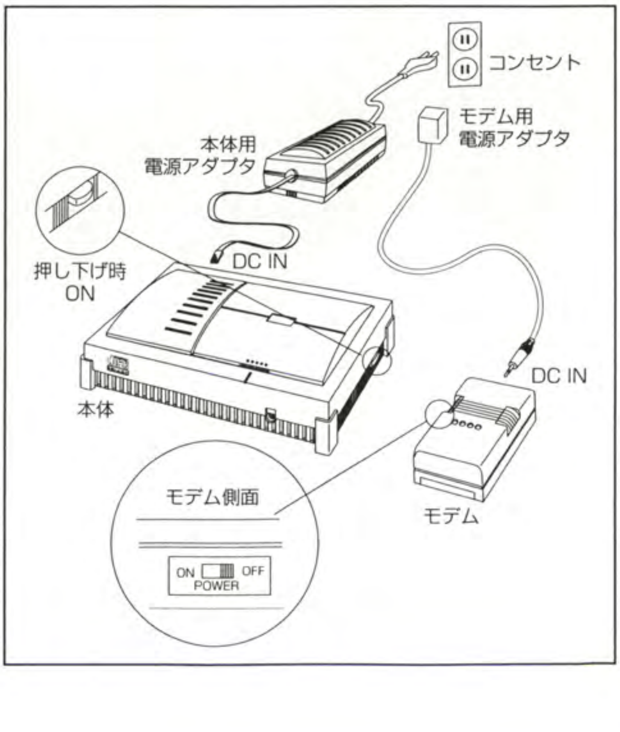
取り付け方法

5 電源ケーブルの接続

①本体と電源アダプタDC出力端子を、本体DC INコネクタで接続します。
②モデム用電源アダプタDC出力端子とモデムDC INコネクタを接続します。
③それぞれのAC入力プラグをACコンセントに接続します。

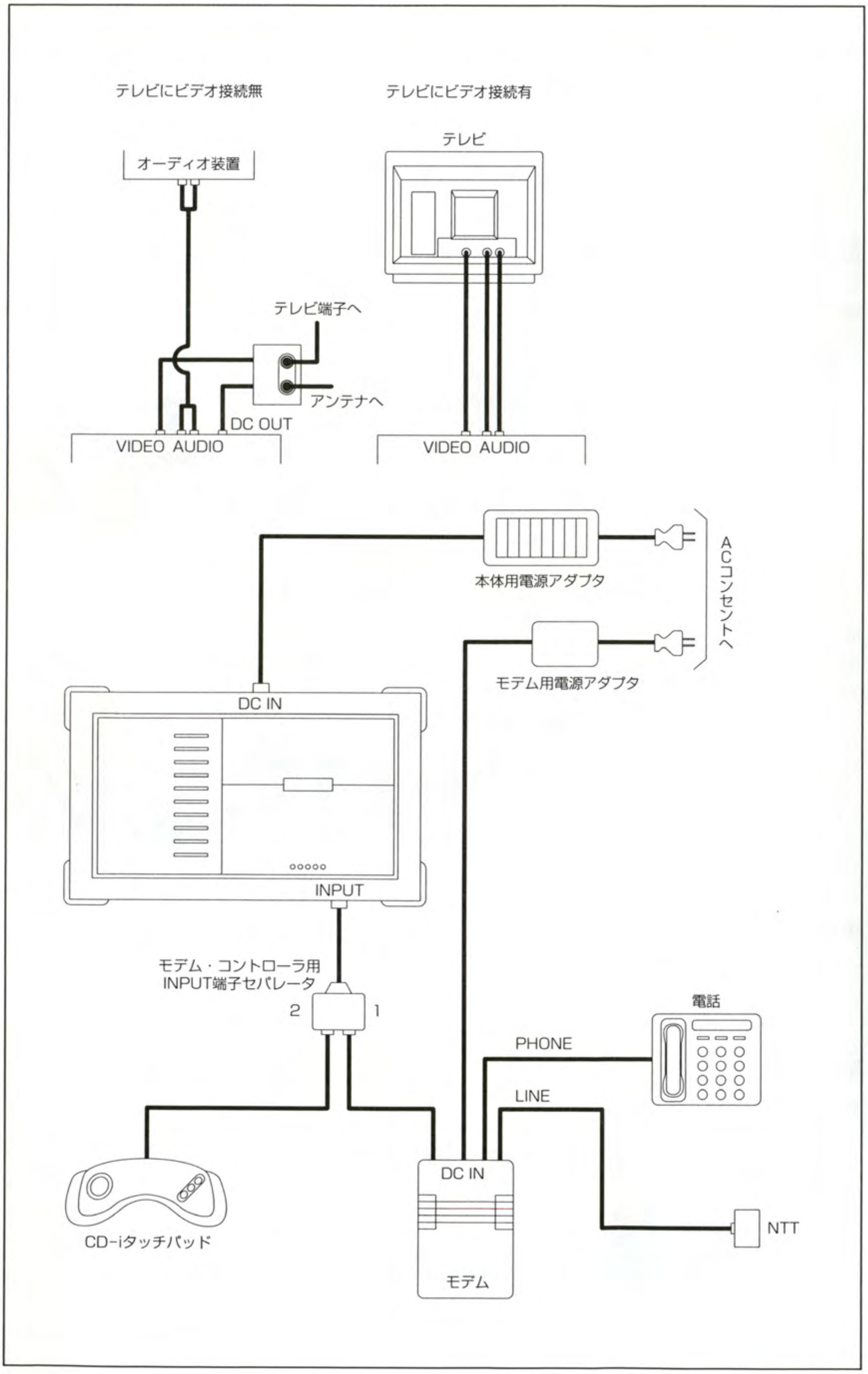
ご注意

●本体とモデムの電源スイッチがOFFであることをご確認の上、接続してください。



6 接続系統図

誤った接続は機器の故障の原因にもなります。
電源を入れる前に、下図のように正しく接続されているか接続先端子をもう一度ご確認ください。

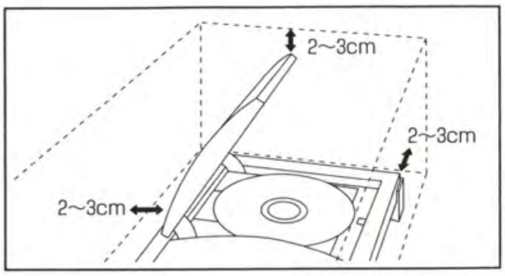


取り付け方法

プレーヤの設置

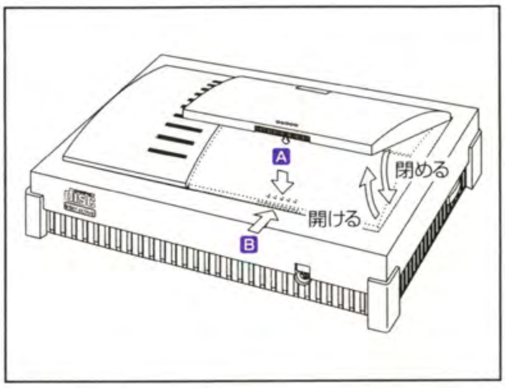
1 プレーヤ設置場所について

◎プレーヤは堅い平らな面に置いてください。
◎プレーヤを熱源から離して、直射日光に当てないでください。
◎キャビネットに入れて使用する場合は、プレーヤの周囲とキャビネットの内面の間に2〜3センチの余裕をもって設置してください。



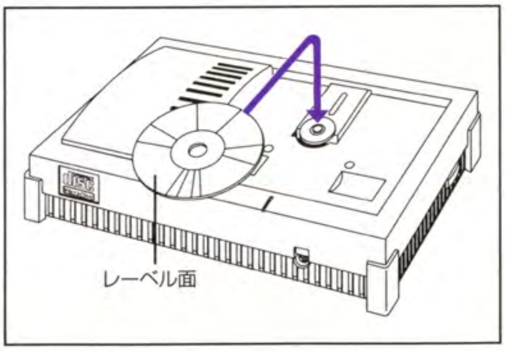
2 ディスクの出し入れ

■カバーの開け方
①ディスクカバー(A)を押し下げ､カチッと音がしてから手を離すと､カバーが少しだけ飛び出します。
②ディスクカバー(B)を持ってカバーを開け､ロックがかかるまで持ち上げます。

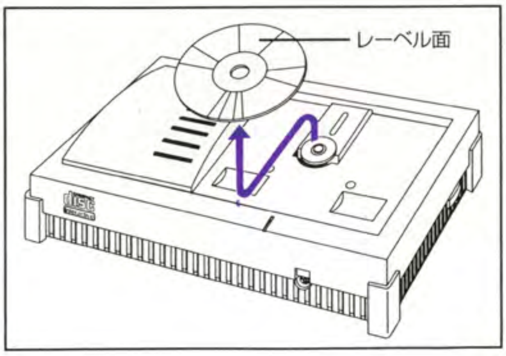


■カバーの閉め方
①ディスクカバー(B)を持ってカバーを閉めます。
②ディスクカバー(A)を押し下げ､カチッと音がしてロックされるまで押し下げます。

■ディスクの入れ方
①ディスクカバーを開けます。
②ディスクのレーベル面を上にしてプレーヤに入れ、中心部の穴と回転軸とを合わせて載せます。
③カバーを閉めます。
※ディスクが起動する間、電源表示LEDが点滅し、再生準備が整うと点灯に変わります。
※テレビの画面表示が、ディスクの種類に応じて変わります。



■ディスクの取り出し方
①ディスクカバーを開けます。
②ディスクをプレーヤから取り出します。
③ディスクカバーを閉めます。



ご注意

●ディスクの再生面に手を触れないようご注意ください。
●再生中にディスクカバーを開けると、再生が停止します。
●一度に2枚以上のディスクをプレーヤに入れないでください。

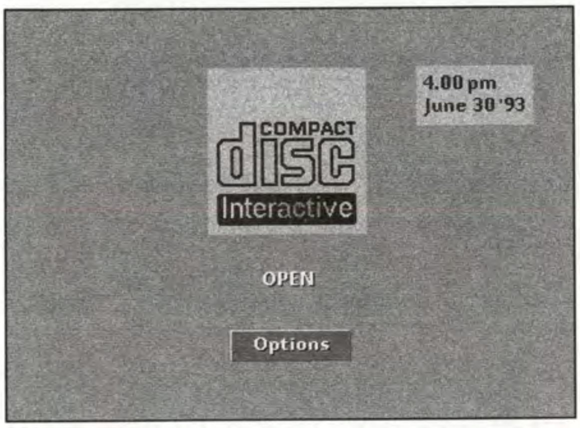
ディスクの再生

1 CD-iディスクの再生

CD-iディスクの再生方法は、自動再生の設定により異なります（P12「CD-iディスク再生に関するオプション」を参照)。出荷時の設定は、「オン」です。

■自動再生が「オン」の場合
ディスクを入れると、CD-iプログラムが自動的に起動します。

■自動再生が「オフ」の場合
ディスクを入れると、CD-i起動画面がテレビに表示されます。
CD-iプログラムを開始するには、画面の「Play CD-i」を選択してクリックします。CD-iプログラムの開始画面がテレビに表示されています。ここから、プログラムとの対話で設定していきます。プログラムを停止するときは、停止または終了を選択します。



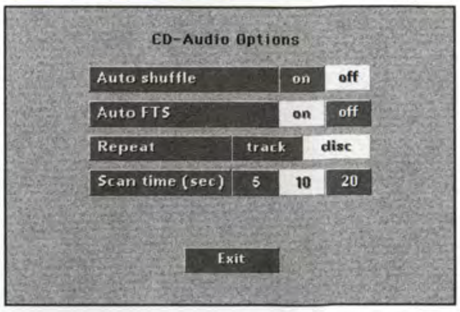
ご注意

- ここで説明した手順は、CD-i、フォトCD、CD-iデジタルビデオ、ビデオCDのディスクに共通です。
- 静止画像を画面に長時間表示したままにしないでください。テレビのブラウン管に焼き付きが起こる場合があります。このような場合は、プレーヤの電源を切るかディスクを取り出してください。
- 1つのタイトルで、2枚以上のディスクが連続している場合は、画面に表示されるディスクカバーの開閉方法に従ってください。

2 CD-iディスク再生に関するオプション

オプション画面を表示するには、プレーヤ起動画面の「Options」をポイント･アンド･クリックします。

■CD-Audioの設定

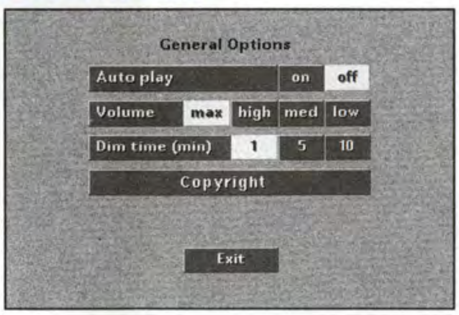


CDを再生するとき、好みの設定を選択できます。

Auto Shuffle	プレーヤの電源が入ると、CDに記録されている曲が自動的にランダムに再生されます。
Auto FTS	プレーヤの電源が入ると、CDのFTSプログラムが自動的に再生されます。
Repeat	リピート機能の作動時に、CD全体または1つの曲をリピート再生させるかを選択します。
Scan time (sec)	スキャン機能の作動時に、各オーディオトラックの出だしを再生する時間を、5、10、20秒の中から選択できます。

◎設定が終了したら、「Exit」をポイント・アンド・クリックします。

■Generalの設定

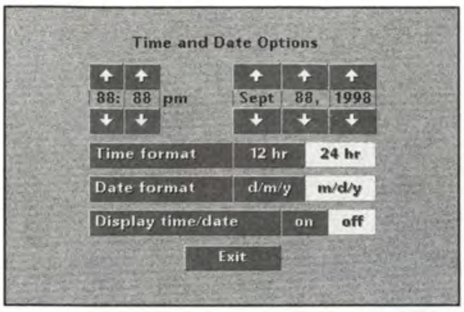


プレーヤの一般的な設定を変更できます。

Auto Play	プレーヤの電源を入れた後、ディスクを設置すると自動的に再生が始まります。
Volume	プレーヤの音声信号出力のボリューム設定を選択します。
Dim time (min)	CDグラフィックスの画面以外はすべて自動的に輝度が落ちます。プレーヤが一定時間使用されないと、画面の輝度を落とす設定が可能です。設定できる時間は1、5、10分間の3種類です。この機能が働くと、画面の輝度が低下します。通常の輝度に戻すには、コントローラのいずれかのボタンを押します。

◎設定が終了したら、「Exit」をポイント・アンド・クリックします。

■Time and Date

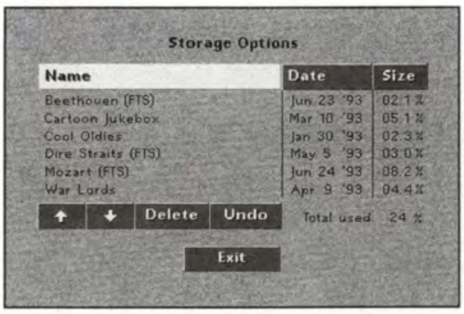


プレーヤの時間と日付の設定を変更できます。
時間/日付の設定　画面に表示された時間または日付が正しくない場合は、「↑」または「↓」を選択して時間、分、年月日を順番に設定します。

Time format	24時間または12時間表示を選択します。
Date format	日、月、年の順番に表示するときはd/m/yを選択します。 月、日、年の順番に表示するときはm/d/yを選択します。
Display time/date	時間と日付をテレビ画面に表示するかを選択します。

◎設定が終了したら、「Exit」をポイント・アンド・クリックします。

■Storage



CD-iのタイトルや、オーディオ、フォトCDのために作成したプログラムの途中経過を参照できます。「Storage」画面は、メモリに蓄えられた、タイトル、日付、メモリの占有割合などの情報を表示します。
「Name」、「Date」、「Size」をクリックすると、その項目の情報が表示されます。
◎「↑」、「↓」を使うと一覧表が上下に移動します。
◎項目を削除するには、そのタイトルをクリックしてから「Delete」をクリックします。削除を中止したいときは、「Undo」をクリックします。
◎設定が終了したら、「Exit」をポイント・アンド・クリックします。

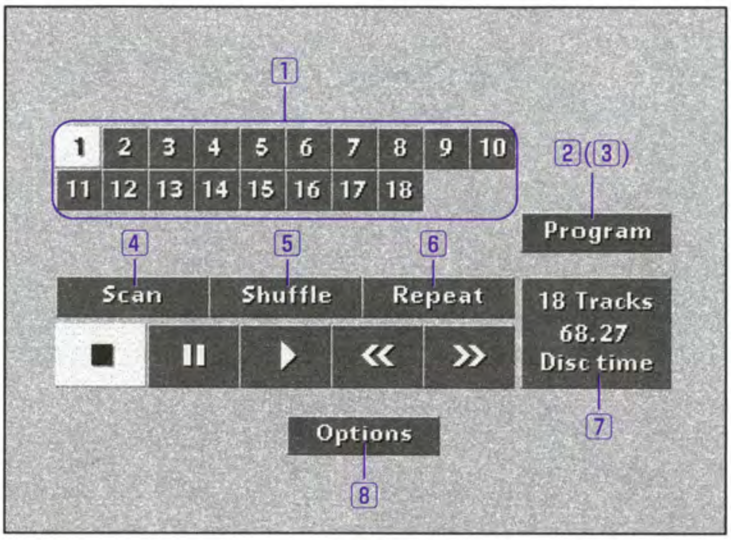
■システム情報



OPEN　ディスクカバーが開いている（または完全にとじていない）ことを示します。
DISC　プレーヤにディスクがない、または傷や汚れでディスクが読み取れないことを示します。

3 オーディオCDの再生

ディスクをプレーヤに入れると、CDオーディオ画面がテレビに表示されます。



1 **再生トラックバー**
曲の総数（最大30まで）が表示されます。ポイント・アンド・クリックの操作で曲を選択できます。ディスクに30を越える曲がある場合は、スクロール矢印（>は右方向、<は左方向）を使って、トラックのリストを移動して表示します。

2 **Program**
任意の曲をプログラムすることができます。プログラムを選択すると、FTSトラックバーおよび「FTS」が表示されます。

3 **FTS**
プログラムで作成した任意の曲（FTSプログラム）を常時再生できます。このポイントは、プレーヤに入れたディスクのFTSが作成されている場合のみ表示されます。

4 **Scan**
再生トラックバーに表示されている各曲の冒頭を聴くことができます。オプション画面で、スキャン時間を5、10、20秒から選んで設定できます。

5 **Shuffle**
再生トラックバーの曲をランダムに再生できます。

6 **Repeat**
1つの曲またはCD全体をリピート再生できます。オプション画面でリピートモードを変更できます。

7 **曲数/時間ウィンドウ**
ディスクをプレーヤに入れると、停止モードのときはこのウィンドウに曲の総数と全体の再生時間が表示されます。このウィンドウ(7) をクリックすると、選択された曲の時間が表示されます。再生中および一時停止モードでは、ウィンドウに曲数と再生の経過時間または残り時間が表示されます。経過時間、残り時間の表示を切り換えるには、ウィンドウに表示された時間をポイント・アンド・クリックします。

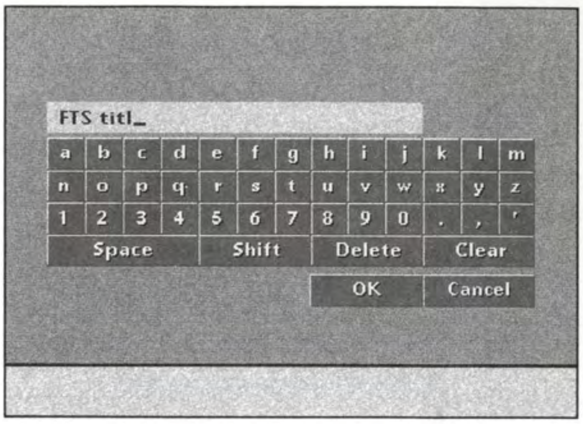
8 **Option**
ディスク再生のコントロール機能すべてが画面に表示され、CD-iコントローラを使ってポイント・アンド・クリックにより、それらを選択します。各機能の内容は、次頁の表を参照してください。

操作項目	選択するポイント
再生を始める	**Play（▶）** 1曲目、または前もって選択した曲から再生が始まります。すでにいずれかの曲を再生している場合は、最初から再生されます。
曲の選択	**トラックナンバー** ディスクに30を越える曲がある場合は、左方向<または右方向>の矢印で再生トラックバーをスクロールします。
一時停止	**Pause（〓）** 再生を一時停止します。
一時停止の解除	**一時停止または再生** 一時停止の場所から再生が始まります。
早送り検索	**Forw（>>）** 最初はゆっくり、次第に速く早送りします。
早戻し検索	**Rev（<<）** 最初はゆっくり、次第に速く早戻しします。
再生を停止	**Stop（■）** 再生を停止するとき使います。
ディスクのスキャン	**Scan** 各トラックの冒頭を順番に再生します。
スキャンの終了	**Scan** 再生中の曲から通常の再生に戻ります。
シャッフル再生	**Shuffle** CDに記録されている曲をランダムに再生します。 再生の順番がトラックバーに表示されます。
シャッフル再生終了	**Shuffle** 再生中の曲から通常の再生に戻ります。
リピート	**Repeat** CD全体（またはFTSプログラム）または再生中の曲をリピートします。
FTS再生	**FTS** プレーヤにFTSプログラムが記録されているディスクの場合のみに使用できます。
FTS終了	**Exit FTS** 再生中の曲から通常の再生に戻ります。
FTSのプログラム作成	**Program** ◎再生トラックバーの曲番号にカーソルを合わせて、アクションボタンでクリックすることにより曲をFTSトラックバーに記録します。 ◎記録した曲をキャンセルするには、FTSトラックバーのキャンセルしたい曲にカーソルを合わせて、アクションボタンをクリックします。 ◎FTSプログラム全体を消す場合は、FTSトラックバーの最初の曲番号を選択して合わせて、記録した曲全部が消えるまでアクションボタンを繰り返しクリックします。
FTSの記憶	**Save FTS** CDオーディオ画面に代わってキーボート画面が表示されます。16ページの「FTSタイトルの作成」を参照してください。

■FTSタイトルの作成

FTSをプログラムした後、キーボートを使って最高30文字程度のタイトルをFTSに作成できます。タイトルを作成すると、そのディスクを入れるたびにCDオーディオ画面にそのタイトルが表示されます。

①CDオーディオ画面で、「Program」をポイント・アンド・クリックしてから、「Save FTS」ボタンをポイント・アンド・クリックします。
②CDオーディオ画面がキーボード画面に変わります。
③タイトルの文字を順番に選択します。シフトを使って大文字と小文字を選択できます。またスペースを使って単語を区切ります。
④OKを選択し、タイトルを保存してCDオーディオ画面に戻ります



※OKを選択する代わりに——
Deleteを選択すると、最後に選んだ文字が消えます。
Clearを選択すると、タイトル全体（または部分）が消えます。
Cancelを選択すると、タイトルを保存せずにCDオーディオ画面に戻ります。

ディスクの再生

4 グラフィックスCDの再生

CDグラフィックス・ディスクを再生するときは、CDグラフィックス画面が自動的に表示されます。



◎ピクチャキャンセルバーを表示、消去する場合は、チャンネルバー以外の箇所をアクションボタンでクリックします。

◎Trackまたは隣りにある矢印をクリックすれば、別の曲を選択できます。

◎ディスクによっては、他のチャンネルナンバーは歌詞を各国語で表示するなど、他の情報を表示することがあります。

◎トラックの機能については、ディスクに添付された説明書を参照してください。

◎オーディオだけを再生するには、Audioアイコンをクリックします。

ご注意

静止画像を長時間画面に表示したままにしないでください。ブラウン管に焼き付きを起こす恐れがあります。このような場合は、プレーヤの電源を切るかディスクを取り出してください。（P12 ディム（輝度低下）オプションを参照してください。）

5 フォトCDの再生

ディスクをプレーヤに入れると、CD-iの起動画面がテレビに表示されます。
①フォトCDのプログラムを開始するには、画面のPlay CD-iアイコンを選択します。
②フォトCDプログラムの開始画面がテレビに表示されます。
画面の下部に、メニューバーが表示されます。

メニューバー



③Ⓐのアイコンを選択します。
④オプション画面が表示されます。
⑤言語を選択するには、ボックスの国旗または国名をクリックします。
前回の設定は、自動的に新しい設定に入れ替わります。



⑥画面のⒷのアイコン（復帰）を選ぶと、フォトCDの開始画面に戻ります。
⑦Ⓒのアイコン（情報）を選ぶと、選択された言語でメニューバーのコントロールボタンの説明がされる、情報画面が表示されます。
⑧ここからプログラムとの対話形式で操作します。

修理サービスを依頼する前に

マナスペースに故障の症状が現れた場合は、まずこのチェックリストの各項目を確認してください。故障の症状は、単純な見落としが原因かも知れません。故障の場合、ご自分で修理することは避けてください。製品の保証期間中に保証サービスが受けられなくなります。

症状	確認事項
電源が入らない…	●電源ボタン②がオンにセットされているか確認してください。 ●ACアダプタのプラグが正しく接続されているか確認してください。 ●ご家庭のコンセントに電源が通っているか、別のコンセントに差し込んで確認してください。
画像が映らない…	●テレビの電源が入っているか確認してください。 ●プレーヤが接続されているテレビの端子を、正しく選択してください。ビデオ接続を確認してください。
画像が乱れる…	●ディスクが指紋などで汚れていないか確認してください。 汚れは、柔らかい布でディスクの中心から端方向へ拭き取ります。
起動しない 画面が変わらない…	●ディスクのドアが正しく閉じているか確認してください。 ●ディスクのレーベルが上側に置かれているか確認してください。 ●ディスクの汚れを取ってください。 ●ディスクに欠陥がないか、別のディスクと取り替えて比べてください。
音が出ない…	●オーディオ接続を確認してください。 ●ステレオ装置などを使っている場合は、別のソースに接続してください。
ステレオなどからの音が歪む…	●オーディオ接続が、アンプのPHONO（レコードプレーヤ）端子に接続されていないか確認してください。
ディスクを取り出しても起動画面に戻らない.....	●プレーヤの電源を一旦オフにして、再度オンにしてください。 ●CD-iプログラムが、別のディスクを入れるように指示しているか確認してください。

主な仕様

●システム
コンパクトディスクインタラクティブ

●使用可能ディスク
CD-i、CD-DA、フォトCD、
CD-iレディ、
CDグラフィックス、
CD-iデジタルビデオ、
ビデオCD

●電源
AC 100V 50/60Hz

●消費電力
30W

●動作温度
5℃から35℃

●許容湿度
5%から95%（結露なし）

●重量
1.21kg

●寸法
カバーを閉じた時　299×　67×190(mm)
カバーを開けた時　299×183×190(mm)

●出力
ビ　デ　オ：NTSC
オーディオ：2チャンネル独立RCAソケット

マザーネットワーク株式会社
〒112 東京都文京区千石4-39-17　日住金千石ビル　Tel.03-5976-1050（代表）